

1998年度 秋の学会 原子核三者若手総会@秋田大学

目次

1	会計報告 (98年度三者センター校)	2
1.1	現段階での決算報告	2
1.1.1	収入	2
1.1.2	支出	3
1.2	三者四役の決算の詳細	3
1.2.1	三者準備校(東大)	3
1.2.2	三者事務局(97年度)(都立大)	5
1.2.3	三者センター校(東北大)	5
1.2.4	三者名簿校(京大)	5
1.3	素粒子論パートの決算詳細	5
1.3.1	素粒子パート事務局(広島大)	5
1.3.2	素粒子パート準備校(大阪大)	6
1.4	原子核パートの決算詳細	6
1.4.1	原子核パートセンター校(九大)	6
1.4.2	原子核パート準備校(大阪市大)	7
1.4.3	原子核パート・パンフ校(筑波大)	8
1.5	高エネパートの決算詳細(大阪大)	8
2	98年度三者事務局(大阪大学)	10
2.1	決算報告	10
2.2	その他	10
3	1998年度 名簿校(京大)の報告	11
4	予算案	13
4.1	予算の獲得について	13
4.2	予算の配分について	13
5	99年度 高エネルギーパート準備校(東京理科大)	17
6	来年度計画	18
6.1	三者若手組織の活性化	18
6.2	夏の学校の活性化	18
7	役職校宿泊費補助	19
8	夏の学校の開催地(新候補地について)	19

1 会計報告（98年度三者センター校）

'98 9/20 東北大学 若手

1.1 現段階での決算報告

1.1.1 収入

名目	金額（円）
前年度（1997年度）繰越金（利子含む）	1,664,792
夏の学校参加費の残金	355,670
ホテルからの協賛金の残金	36,000
素粒子論グループからのカンパ	450,000
合計	2,506,462

表 1: 現金収入

研究機関	区分	申請額（円）	援助額（円）
基研	校費（講師の旅費等）	500,000	500,000
基研	校費（予稿集印刷費）	300,000	200,000
RCNP	校費（講義録印刷費）	270,000	0
合計			700,000

表 2: 校費収入

1.1.2 支出

1. 役職校への予算 割り振り額

役職校	今年度予算額	実際の支出	残額
三者準備校	400,043 (注1)	289,634	110,409
三者事務局 (97年度)	88,147	88,147	0
三者事務局 (98年度)	30,000		
三者センター校	10,000	8,172	1,828
三者名簿校	40,000	-5,966	45,966
素粒子パート	60,000	21,483	38,517
原子核パート	99,980	103,479	-3,499
高エネパート	33,850 (注2)	27,850	6,000
合計	762,020		

注1： 利子 43 円を含めた。

注2： 高エネパート会場キャンセル費が当初の 14,600 円から,19,850 円に訂正されたことによる。

1.2 三者四役の決算の詳細

1.2.1 三者準備校(東大)

	収入	支出	残金
三者センター予算	400,043 円	289,634 円	110,409 円
参加費	1,119,000 円	763,330 円	355,670 円
ホテルからの協賛金	420,000 円	384,000 円	36,000 円
	合計： 1,939,043 円	合計： 1,436,964 円	合計： 502,079 円

センター予算

- 収入
センターより 400,000 円
利息 43 円
- 支出
総支出 289,634

下見・契約	22,185
ポスター	120,000
郵送費	8,460
コピー代	21,164
文具代	1,343
ネームプレート	20,317
諸経費	696
補助金	95,689 (注1)

注1 もともとの補助金の予算額は 180,000 円であったが、今年はホテルから協賛を 84,000 円頂けたので、補助金のうち約 84,000 円はその協賛を振り替えた。

参加費

1. 収入

参加者 373 名 参加費収入 1,119,000 円 (一人 3,000 円)

2. 支出

項目	支出額
旅費の補助	734,020
旅費の補助 振替手数料	13,940
壁の修理代	12,600
ホテル代金支払 振替手数料	2,770
合計	763,330

ホテルからの協賛金

1. 収入

ホテルの協賛金 420,000 円

2. 支出

役職名	大学名	泊数	協賛額
三者準備校	東京	28	84,000
素粒子パート	大阪	28	84,000
原子核パート	北海道、大阪市立	28	84,000
高エネパート	大阪、信州	28	84,000
事務局	大阪	8	24,000
名簿	京都	4	12,000
センター	東北	4	12,000
計		128	384,000

1.2.2 三者事務局(97年度)(都立大)

予算額 : 88,147 円

使用額(講義録作成費の一部): 88,147 円

残額 : 0 円

1.2.3 三者センター校(東北大)

予算額 : 10,000 円

使用額(振込手数料): 8,172 円

残額 : 1,828 円

1.2.4 三者名簿校(京大)

- 全注文数 : 597 部
- 発行部数 : 600 部
- 名簿価格 : 1 部 500 円

収入	支出
三者センターより : 40,000 円 各研究室より(名簿代): $500 \times 597 = 298,500$ 円 各研究室より(郵送料): 46,290 円	名簿印刷代 : 292,950 円 郵送料 : 45,754 円 振込手数料 : 120 円 三者センターへ返金 : 45,966 円
合計 : 384,790 円	合計 : 384,790 円

実質 $45,966 - 40,000 = 5,966$ 円の黒字。

1.3 素粒子論パートの決算詳細

1.3.1 素粒子パート事務局(広島大)

(金額単位: 円)

項目	収入	支出	残額
通信費	2,000	435	1,565
(支出合計)	2,000	435	1,565

昨年度の決算に比べて支出が大きく下回ったのは、

1. 他校との連絡をを e-mail で行うことで、紙代や郵送代が抑えられた
2. 振込手数料が前年より大幅に少なかった

などによる。また、実際には、残額として、更に 3,765 円を付け加えて振り込んだ。この額は、前年度からの繰越金によるものである。(事務局は、予算案を提出する段階では、この繰越金がセンター校に返却されているものと考えていた。)

1.3.2 素粒子パート 準備校 (大阪大)

1998 年 8 月 31 日現在

(金額単位：円)

項目	収入	支出	残額
印刷費			
講義録関係費	15,000	6,800	8,200
研究会関係費	10,000	2,970	7,030
準備校関係書類印刷費	10,000	2,500	7,500
録音関係費			
録音用カセットテープ購入費	5,000	0	5,000
録音機器用電池購入費	3,000	283	2,717
延長ケーブル貸借費	2,000	2,200	-200
録画用 8mm・ビデオテープ購入費	0	3,516	-3,516
通信運搬費			
OHP 搬送費	5,000	0	5,000
講義録郵送費	3,000	3,000	0
消耗品費	5,000	3,434	1,566
手数料	0	110	-110
(合計)	58,000	24,813	33,187

1.4 原子核パートの決算詳細

1.4.1 原子核パートセンター校 (九大)

予算額：2,000 円

使用額 (郵便代)：700 円

残額：1,300 円

1.4.2 原子核パート 準備校（大阪市大）

項目	内容	金額 (円)
謝金	review talker への補助 (一人 10,000)	30,000
Topics の講師への補助	交通費 20,680 滞在費 (二日) 11,000	31,680
印刷費	研究会のパンフレット (130 部) 13,950 講師のトラペのコピー 2,610	16,560
テープ代	講義の録音	3,969
郵便代	講師の先生方との諸連絡 (案内状、礼状、返信用封筒代等)	2,470
合計		84,679

予算の追加申請について

今回の運営に要した費用が、申請した予算額 (72,980 円) を、現段階で、11,699 円超過してまいりました。以下にその理由を記して、超過分の補填を申請します。

超過分 11,699 円の内訳

1 印刷費	8560 円の超過
2 郵便代	2470 円の超過
3 テープ代	669 円の超過
合計	11,699 円の超過

印刷費について これは、研究会用の予稿集の印刷に伴う出費です。

当初の予定では、予稿が集まり次第ネット上に挙げて各自で出力をしてもらい、準備校側では 20 部程度の予備的なコピーを持参する手はずにしていたのですが、原稿が整ったのが夏の学校の前々日だったため、結局、参加者全員分を印刷することにしました。

郵便代について 予算を申請した際は、外部との連絡は全て e-mail、または電話で十分と考えていたので郵便代を一切請求していませんでしたが、講義内容を原子核研究へ投稿する等の、その時点では認識されていなかった仕事が出てきました。これらの費用は、編集会社から送られて来た投稿書式や先生方からの返信用封筒の郵送費用に充てています。

テープ代について 講義時間の超過分をそのまま反映した結果です。

「原子核研究」編集部への投稿費用について 研究会の talk の原稿を郵送する費用として 1000 円必要です。

予算の追加申請額について

予算超過分	11,699 円
「原子核研究」投稿費用	1,000 円
合計	12,699 円

以上、合計 12,699 円の予算の追加申請を致します。

1.4.3 原子核パート・パンフ校（筑波大）

YONUPA 原子核パート修士論文アブストラクト決算報告

収入：25000 円

支出：一般のコピー機により複製。製本は自分達でホッチキスどめをした。

8 円 x 23 頁 x 100 部 = 18400 円

値引 300 円

合計 18100 円

残金：25000 - 18100 = 6900 円。

1.5 高エネパートの決算詳細（大阪大）

1998 年 9 月 26 日現在

（金額単位：円）

項目	収入	支出	残額
三者センターより	14,000		
会場キャンセル費	19,850		
講義録作成関連			
カセットテープ(120分・10本)		1,700	
トラペコピー代(夏の学校会場)		450	
トラペ返却郵送費			
速達・簡易書留		1,930	
ゆうパック		2,100	
講義録送付費用(去年度の講師の方へ)			
普通郵便(3通)		1,740	
連絡費			
普通郵便		80	
会場キャンセル費		19,850	
(合計)	33,850	27,850	6,000

2 98年度三者事務局(大阪大学)

鍋谷 栄展 nabetani@kern.phys.sci.osaka-u.ac.jp

2.1 決算報告

収入		支出	
三者センターより	30,000	予稿集郵送料	13,280
		その他、雑費	1,554
		振込手数料(繰越金返却)	120
		繰越金	15,046
計	30,000	計	30,000

2.2 その他

- 来年度は予稿集郵送料が不用になるため、三者事務局の支出はほとんどなくなる。
- 98年度分予算については98年度に決算を行い、来年の講義録発行用の予算は来年度新たに申請することにした。
- 来年度講義録作成についての詳細は、研究機関からの補助額が確定される春の学会で報告する

3 1998年度 名簿校（京大）の報告

3.1 会計[†]

注文取り → 名簿価格の決定（昨年度と同じ手順）

- 全注文数：597 部
- 発行部数：600 部
- 名簿価格：1 部 500 円

収入	支出
三者センターより：40,000 円 各研究室より（名簿代）：500 × 597 = 298,500 円 各研究室より（郵送料）：46,290 円	名簿印刷代：292,950 円 郵送料：45,754 円 振込手数料：120 円 三者センターへ返金：45,966 円
合計：384,790 円	合計：384,790 円

実質 45,966 - 40,000 = 5,966 円の黒字。

3.2 三者若手名簿のアクセス制限について[‡]

現在の状況

- ftp でのアクセスは、.ac.jp, .kek.jp, .go.jp 以外からは取れないようにした。
- gopher での三者若手名簿の検索については アクセス制限は難しい。
- 素粒子論グループの名簿ではパスワード入力を求めるようにしている。

提案

（アクセス制限を行う方向での現実的で最善と思われる方法）：

- 三者若手名簿の検索およびファイル取得に対しパスワード入力を求める
 - 名簿検索については、素粒子論グループのものと同様の形態にする。[§]
 - 従来 anonymous ftp からファイルを取れるようにしてきたが、今後ファイル取得は web 経由のみにする。
- 基研以外のホームページでも三者若手名簿の無制限の公開を禁止する

[†] さらに追加注文があったため夏の学校の三者総会の時点での見込みと異なっている。

[‡] これは 1998 年度原子核三者若手夏の学校の三者総会のときに挙げられた問題。

[§] 現在システム移行中なので素粒子論グループの名簿のアクセス制限は不完全なものであるが、データベースの検索サーバーを入れ替えた後は改善される予定。

- 基研以外のホームページで三者若手名簿の無制限の公開をしているところを見つけたら、やめてもらうように名簿校が交渉する。
- 1999 年度以降の三者若手名簿では「ホームページ等での無制限の公開の禁止」を明記する。

(文責：岸本 功 ikishimo@gauge.scphys.kyoto-u.ac.jp)

4 予算案

99年度三者センター校 北海道大学 若手
この議案書は'98/09/16 現在のものです。

4.1 予算の獲得について

・前年度繰越金(予定) : 229,000

・各研究機関からの補助内訳(申請については予定)

機関名	区分	申請額	前年度援助額
基研	講師の旅費等	500,000	500,000
基研	講義録印刷費等	300,000	200,000

・研究グループからのカンパ(申請については予定)

機関名	申請額	前年度援助額
核物理委員会	100,000	0
素粒子論グループ	450,000	450,000

獲得予算合計(予定) : 1,579,000

4.2 予算の配分について

	今年度予算(案)	前年度予算
三者	454,000	480,000
パート	188,000	188,580
講師の旅費等	500,000	500,000
講義録印刷費	270,000	270,000
合計	1,412,000	1,438,580

三者四役の予算案

機関名	今年度予算(案)	前年度予算
三者センター	10,000	10,000
三者事務局*	4,000	30,000
三者準備校	400,000	400,000
三者名簿校	40,000	40,000
三者予算合計	454,000	480,000

*:98年度三者事務局の追加予算も含む。

備考

- 三者センター

申請項目	申請額
振込手数料	10,000
申請額合計	10,000

- 三者事務局

申請項目	申請額
振込手数料+郵送費(99年度)	3,000
郵送費(98年度)	1,000
申請額合計	4,000

- 三者準備校

申請項目	申請額
下見・契約代	30,000
ポスター代	60,000
郵送料	70,000
コピー代	50,000
文具費	10,000
補助	180,000
申請額合計	400,000

- 三者名簿校

申請項目	申請額
郵送料立て替え*	40,000
申請額合計	40,000

* これは、厳密には支出ではない。

各パートの予算案

パート名	今年度予算(案)	前年度予算
高エネルギー	38,000	60,000
原子核	101,000	99,980
素粒子	49,000	28,600
パート予算合計	188,000	188,580

備考

- 高エネルギー

- － 高エネルギーパート準備校

申請項目	申請額
講義録作成費	8,500
OHP 関連	8,000
輸送費	7,500
雑費	2,000
事前宿泊費	12,000
申請額合計	38,000

- 原子核

- － 原子核パート準備校

申請項目	申請額
Review Talker への謝金	30,000(10,000 × 3)
Topics 講師への謝金	30,000(30,000 × 1)
諸経費	15,000
申請額合計	75,000

- － 原子核パートセンター校

申請項目	申請額
振込手数料	2,000
申請額合計	2,000

- － 原子核パートパンフ校

申請項目	申請額
印刷代	24,000
申請額合計	24,000

- 素粒子

- － 素粒子パート準備校

申請項目	申請額
録音関係費	23,000
通信関係費	7,000
消耗品代	8,000
研究会費	10,000
申請額合計	48,000

－ 素粒子パート事務局

申請項目	申請額
通信費	1,000
申請額合計	1,000

5 99年度 高エネルギーパート準備校（東京理科大）

(1) 役職校（高エネルギーパート準備校）に対する宿泊費の補助

(2) 素粒子パートが行う現象論の講義/研究会に高エネルギーパートが参加する。または共同に開催する。

(1) を（高エネパートが）要求する理由は以下のためである。

- * 宿泊費の金銭的負担が大きい。
- * 研究室からの補助を得られる可能性が低い。
- * 仕事（実験など）があるM2以上が、その仕事から1週間以上離れるのは大きな負担である。

(2) は、

- * 今年の高エネパート参加者の中に、「素論の現象論を聞きたい」という意見が少なからずあったこと
- * 高エネ以外の分野に触れるいい機会であること

などが理由である。

三者センター校議案書

6 来年度計画

6.1 三者若手組織の活性化

三者若手を将来さらに活発な組織にしていくために、三者センター校では、以下のような提案をします。

1. 新たな財源の開拓

これは、夏の学校の開催に必要な経費を調達するものです。具体的には、比較的関連の強いと思われる企業(ソフトウェアメーカー、パソコンショップ、コンピュータメーカー)や関係機関(動燃、原研)等を中心に財源の開拓を行っていくことを計画しています。

2. 若手組織の対外的なアピール

三者若手の存在を対外的にアピールするという意味を含め、現在基研に開設されている「yonupa」ホームページへのリンク数を増加させるというものです。これにより、一般の方々が原子核、素粒子研究分野に対する理解を深める一旦を担えることが期待されます。

6.2 夏の学校の活性化

また、来年度に向けて、さらに夏の学校を活性化するために、次のような新企画を提案します。以下の企画は、現時点で夏の学校の主たる参加者となっているMCが夏の学校を活用しやすくするために考案したものです。

1. 講義形式の見直し

これまで、夏の学校の講義は、MCもDCも同一の講義に参加していましたが、アンケートの結果、『講義の内容がMCには難しすぎるし、DCには易しすぎる』という意見が多数寄せられたので、講義を、MC向けDC向けに分けるといった講義形式の見直しを行います。

2. 研究会形式の見直し

(a) ポスターセッションの導入

研究会の参加者を増やすためにポスターセッションの導入を検討します。

(b) 研究会の分野別の見直し

従来の研究会の分野別(素粒子:現象論、場の理論、弦理論、原子核:構造、クォーク・ハドロン、反応)など分野別を見直して、より細分化したものにするなど、参加者及び発表者の関心を高めるよう工夫します。

3. DC,MCの交流の機会の拡大

(a) 参加者DC abstract集の作成

これは、夏の学校の DC 参加者に、参加申し込みの時点で、自分の所属大学、所属研究室、研究課題 (予定も含む)、課題についての簡単な abstract を書いてもらい、それを一つの本にまとめて、夏の学校で、参加研究室に一冊ずつ配るというものです。従来の夏の学校では、あらかじめ個人の研究課題がわからなかったために、学生間で、研究についての議論ができにくい環境でしたが、この abstract 集を夏の学校開始日に配ることにより、MC と研究経験の豊富な DC の交流を活発にします。

(b) 研究課題を携帯バッジに記載

これは、夏の学校で配られる研究室名と名前が書かれたバッジに、研究課題が決まっている人は、研究課題も入れて、研究についての話題が出やすくするものです。これにより研究についての議論がしやすくなるのを狙っています。

(c) DC,MC 懇親会の開催

今年度、素粒子パートでは、参加 DC の preprint abstract 集を作って配り、それを話題にして、DC と MC の懇親会をやるという企画をして好評でした。来年度は、三者としてこのような企画を公式に立ち上げて、共同研究など、研究成果が生まれやすい環境を整えていこうと考えています。

7 役職校宿泊費補助

これまでは、物理的負担が大きいということで三者準備校にのみ毎年 180,000 円という金額が支払われていました。98 年度夏の学校では、三者準備校の尽力によりホテルの協賛を得る事ができ、各役職校に宿泊費補助が支払われました。しかし 99 年度はそういった財源が確保できていないため、現段階では出す事が出来ません。また、このことに関しては以前からも議論があり決着しておりません。そこで遠隔地補助を一部役職校補助にまわすことを提案します。パート準備校のみに分配するとして 99 年度決算を例にとると、

遠隔地補助	747,960	
各パートに分配	-90,000	(= 30,000 * 3)
残り	657,960	

$657,960 / 747,960 = 0.879\dots$

から、遠隔地補助が一割強減少します。

8 夏の学校の開催地 (新候補地について)

99 年度三者準備校東工大